CAUA FORUM 2008



「大学における電子メールを再考する」 パネル討論

京都工芸繊維大学における運用事例

京都工芸繊維大学情報科学センター

桝田 秀夫



京都工芸繊維大学(KIT)



- 工芸科学部 (2006年4月~)
- 生命物質科学域
 - 応用生物学課程
 - 生体分子工学課程
 - 高分子機能工学課程
 - ◆ 物質工学課程
- 設計工学域
 - 電子システム工学課程
 - 情報工学課程
 - ◆ 機械システム工学課程
 - ・デザイン経営工学課程
- 造形科学域
 - ◆造形工学課程
- 学生数約4500人
- ◆ 教職員数 約 500 人 2008年6月6日



情報科学センター(CIS)



- 学内共同利用の基幹コンピュータシステムと学 内情報ネットワーク (KITnet) を活用する基盤 情報技術に関する教育研究を行う
 - 教授 1, 准教授 1, 助教 1
 - 技術専門職員 2, (再雇用)1
- 主な業務
 - 教育用計算機システムの運用管理
 - ネットワークの運用管理
 - アカウント管理(発行)
 - 仮想 Web, MLのサーバの運用管理
 - ◆ サブドメインのDNS
 - キャンパスライセンスの管理

情報科学センター

Center for Information Science Kvoto Institute of Technology

報科学センターの開館時間は、月~金 9:00~16:30です 休館日 土日・祝祭日 年末年始

<2004年4月1日>から,京都工芸繊維 カウント) について、 foo@ipc.kit.ac.jp または foo@ipc.kit.jp (いずれも可) から foo@kit.jp または foo@kit.ac.jp (いずれも可) へ移行しました

新システムへの移行案内(2006/05/30)(学内専用)

◆ホット情報掲示板

Copyright (c) MASUDA Hideo, 2008, All Rights Reserved. センター紹介 ■諸規定と利用料金(学内専用)

2008年台長6日

利用者のメールアドレスの一部移行(簡潔**化)の**

提供中の E-Mail サービス

- センターのアカウントを持つ全ての利用者向け
 - ◆ @kit.ac.jp (教員), @edu.kit.ac.jp (学生)
 - ◆ 学部 / 修士 / 博士で別々のアカウントを発行
 - アカウントは、卒業年の6月末まで残存
- ◆ POP3S, SMTPS が基本
 - ◆ POP before SMTP, APOP も残存(学内からのみ)
 - mbox 容量制限あり (200MB(soft)/300MB(hard))
 - ◆ 10MB/ 一通 (SMTP)
- 転送設定可能 (~/.forward による)
 - ◆ 転送先の制約は無し (携帯や Freemail も OK)



提供中の E-Mail サービス (2)



- ウィルスチェックゲートウェイサービス
 - F-secure Anti-Virus Gateway
 - ◆ in-bound だけでなく out-bound にも適用
 - ◆ システムは二重化 (同一 Pref. MX, DNS round robin)
- ML 運用サービス
 - majordomo/mailman
- ◆ SPAM 対策サービスは基本的に提供<u>しない</u>
 - ◆ 内容に踏み込まないものは徐々に導入中
 - ◆HELO/EHLO チェック、逆引きチェック
 - Greet Pause
 - ◆ VRFY チェック (Gateway)



E-Mail サービスの運用ポリシー

- 情報セキュリティポリシーは策定済み
 - ◆電子メール限定の話は入っていない
 - http://www.kit.ac.jp/09/09_120000.html

[サービスポリシーの決定方法]

- センター次長が技術的な側面から基本方針を決定
- センター長が決裁をする
 - ◆規則実施細則などでは、「センター長が定める」と規定。
- ◆(必要であれば)情報セキュリティ運営部へ
 - ◆情報担当理事 + センター長 + 情報化推進室長



E-Mail サービスの運用ポリシーの例®

- 転送先の設定に制限は設けない
- ML には差出人制限をかける(気体め?)
- 学内組織で独自のメールサーバの運用を認める
 - ◆ ウィルスチェック GW を極力経由するように依頼
- 学外からのメールサーバへのアクセスは、暗号 化対応のものに限る
 - OBP25 のおかげでスムースに
- ◆ 内容に踏み込む SPAM 対策の導入はしない
 - とりあえず Thunderbird で



E-Mail サービスで困っていること

- ◆ SPAM 対策をやってくれ圧力
 - ユーザサポートコストの増大が懸念される
- ▶ 転送先エラーの多発
 - ****
- ◆ 信頼性減少(?)に伴う他サービスへの移行
 - 業務通知 → Web 掲示のみ(!!)
- ▶ ウィルス対策サーバの負荷増大
- ◆ ウィルス対策サーバへの過信
 - ・パスワード付 ZIP ファイルの増加

